

平成 26 年度 学力向上を図るための全体計画

学習指導要領の理念 「生きる力」の育成 = 知・徳・体のバランスのとれた力の育成
 (知：確かな学力 徳：豊かな人間性 体：健康・体力)

【目指す教師像】
 ○立川一中を愛する教師
 ○一時間一時間の授業を大切にしている教師
 ○生徒一人一人を大切にしている教師

【教育目標】
 ・知性を磨いて個性を伸ばそう (知性)
 ・敬愛の心を深め良い市民になろう (敬愛)
 ・勤労を愛し責任を果たそう (勤労)

【目指す生徒像】
 ○**確かな学力**と豊かな個性をもった生徒
 ○思いやりの心と規範意識をもった生徒

学習機会の拡充
 《 補充教室の開催 》
 □▲定期考査前の学習教室「ステップアップ教室」
 各考査前4～5日間 年4回
 (6/17～23 9/10～17 11/13～18 2/12～17)
 自主学習コースと5教科復習授業コース
 □▲定期考査前の学習教室「土曜学習教室」
 年4回 (6/21 9/13 11/15 2/14)
 学校関係者+大学生+地域人材を活用
 □▲夏季休業中の学習教室「サマースクール」
 6日間 (7/16～18・22～24)
 全教員及び小中連携や外部人材の活用予定
 □▲三者面談期間中の学習教室「ビルドアップ教室」
 副担任が中心となって実施 (12/4～10)
 ◎▲定期的な学習教室「水曜学習教室」
 学校関係者等を活用して実施 月2回を予定

【目指す学校像】
 ○安心して通わせられる学校
 ○**確かな学力**と社会性を身に付けさせてくれる学校

家庭学習への支援
 《具体的な家庭学習の在り方について指導》
 □▲「家庭学習のしおり」を作成
 →生徒(保護者)配布(5月中旬)
 □▲宿題提示の工夫
 -宿題の内容の工夫や努力した成果を發揮できる場の工夫-
 □ WAT 観点・領域別学力診断テスト
 (フォローアップシート)の家庭学習への活用

確かな学力の育成
 *基礎的・基本的な知識や技能の習得
 *思考力・判断力・表現力等の育成
 *学習意欲の向上や学習習慣の確立

授業改善と授業力の向上
 《生徒の「わかった・できた」という実感 + 「意欲と自信」がもてる授業の展開》
 □学習のねらいや学習活動の手順を提示
 →生徒が学習の見通しを持てる授業展開
 □小学校との接続を意識した授業展開
 →中1ギャップへの対応と小中連携教育活動の充実
 □『授業改善推進マイプラン』の作成
 作成→実施→検証→改善のサイクルを確立
 □生徒による「授業評価」の実施(年2回)
 →生徒アンケートの「分かりやすい授業」への回答80%以上目標
 □若手教員対象のOJTを通じた授業改善
 →OJT担当者等による授業観察と指導
 □個に応じた指導の充実
 →習熟度別少人数授業の実施
 ☆▲1・2年国語 □全学年数学・英語

評価・評定の活用の工夫
 《学習のふり返りによる意欲の向上》
 □「各教科の評価方法」の作成・配布
 →「各教科の評価方法」を活用し、生徒に通知と説明
 □通知表【学習の記録】の配布—終業式3日前
 →評価に関する質問期間の設定
 →学習状況をふり返り次学期につなげる
 □「評価説明資料」の配布—終業式3日前
 『評価説明資料』を活用し各学期末に生徒・保護者に通知
 →学習状況のふり返りに活用
 □生徒の自己評価を工夫
 『学習ふり返りシート』の活用—各学期末
 ▲学力の定着度の把握と管理
 「個人カルテ」の作成と活用(1・2年国語)

校内研究の充実
 □東京都学力向上パートナーシップ事業調査研究校
 →重点教科 国語+数学(算数)
 英語(外国語活動)
 □思考力・判断力・表現力等を育む言語活動の充実
 →全員参加型の研究授業・協議会を実施(年2回)
 □指導と評価の一体化
 授業内の評価から生徒の実態を把握
 →個に応じた指導など指導の改善を図る
 □国・都の学力に関する調査の年度変化の分析